

# 2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

---

株式会社 高松コンストラクショングループ 証券コード：1762

2024年8月7日

1. 2025年3月期 第1四半期決算 . . . . .	2
2. 2025年3月期 業績予想・配当予想 . . . . .	18

2025年3月期 第1四半期決算

---

# 企業集団の状況

土木	建築	不動産	主要営業エリア
	高松建設		東京・大阪・名古屋
	高松テクノサービス		大阪・東京
		高松エステート	大阪・東京
	住之江工芸		国内（全国）
	金剛組		大阪・東京
	中村社寺		名古屋
	タカマツビルド		東京・神奈川
	大昭工業		大阪
	青木あすなろ建設		国内（全国）
島田組			国内（全国）
みらい建設工業			国内（全国）
青木マリーン			国内（全国）
	エムズ		首都圏
東興ジオテック			国内（全国）
		タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
		ミブコーポレーション	東京・神奈川
		タカマツハウス関西	大阪・兵庫
		高松CG USA	米国
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）			

# 2025年3月期 第1四半期業績推移

◆ 売上総利益率、経常利益率以外は前年同期比増となり、四半期純利益も1億円を確保。

(億円)

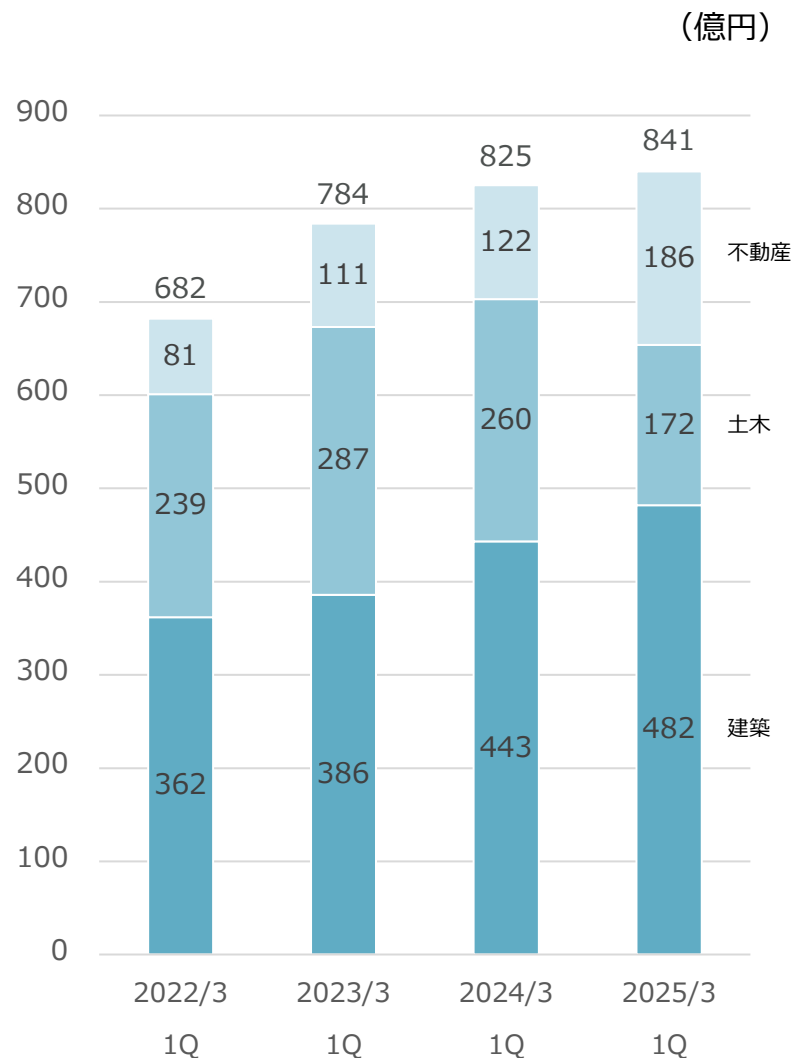
項目	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	増減率
受注高	682	784	825	↑ 841	+1.9%
売上高	613	604	656	↑ 781	+19.1%
売上総利益	83	76	88	↑ 91	+3.5%
売上総利益率	13.5%	12.6%	13.5%	↓ 11.7%	△1.8pt
営業利益	14	3	8	↑ 9	+21.6%
営業利益率	2.3%	0.6%	1.2%	↑ 1.3%	+0.1pt
経常利益	14	4	9	↑ 9	+3.8%
経常利益率	2.4%	0.8%	1.5%	↓ 1.3%	△0.2pt
親会社株主帰属 四半期純利益	8	0.6	△1	↑ 1	—
四半期純利益率	1.4%	0.1%	△0.2%	↑ 0.2%	+0.4pt

# セグメント別 受注高

◆ 建築は高松建設で増加し前年同期比+8.8%、土木は青木あすなる建設、みらい建設工業、東興ジオテックで減少し前年同期比△33.6%、不動産は主にタカマツハウスの増加により前年同期比+52.4%。

(百万円)

セグメント別	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q
建築	36,256	38,605	44,369	48,255
土木	23,908	28,777	26,003	17,255
不動産	8,102	11,104	12,224	18,628
連結合計	68,268	78,486	82,597	84,139



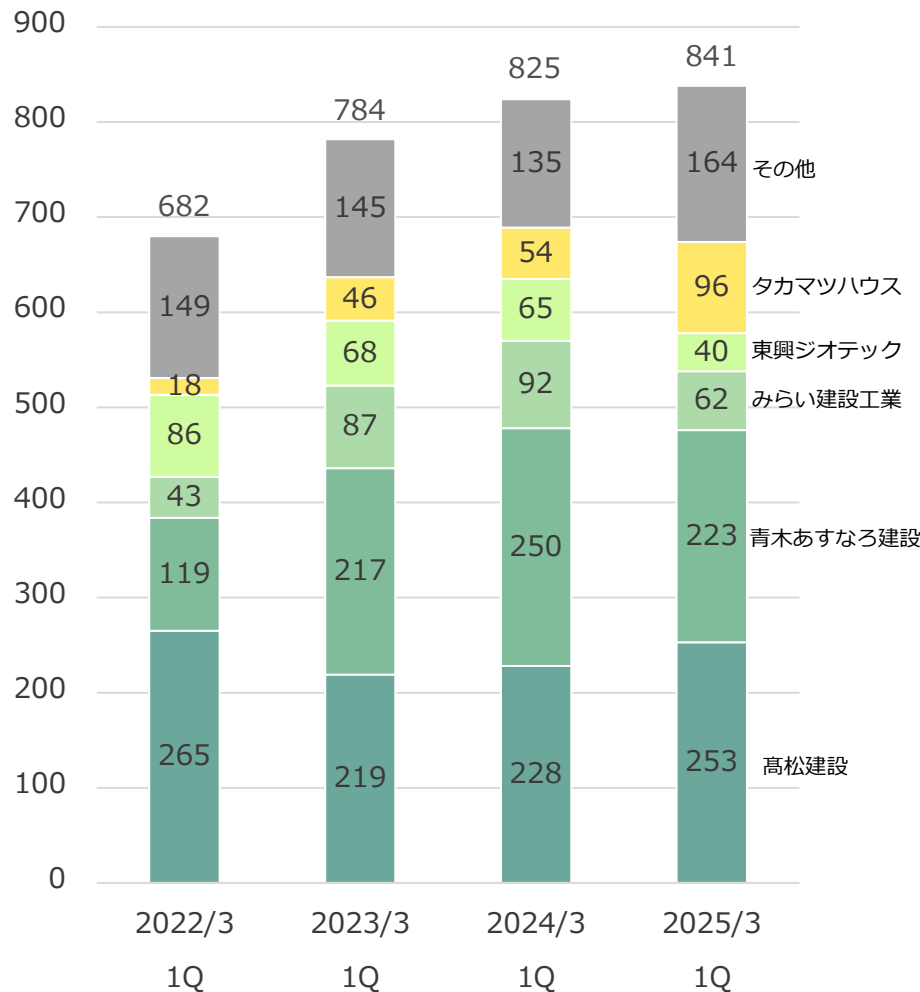
# 中核事業会社別 受注高

◆ 高松建設は前年同期比+11.1%、青木あすなる建設は土木セグメントで減少し前年同期比△10.5%、みらい建設工業は前年同期に大型案件受注があり、その反動で前年同期比△32.1%と大幅減、東興ジオテックは予定していた案件が前期受注となったこともあり、前年同期比△38.3%と大幅減、タカマツハウスは前年同期比+79.0%と大幅増、その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比+20.9%と大幅増。

(百万円)

(億円)

会社別	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q
高松建設 (単体)	26,534	21,971	22,808	25,336
青木あすなる 建設 (単体)	11,963	21,788	25,026	22,394
みらい 建設工業 (単体)	4,331	8,700	9,205	6,252
東興 ジオテック (単体)	8,636	6,837	6,580	4,058
タカマツ ハウス (単体)	1,854	4,603	5,416	9,697
その他 (含連結調整)	14,950	14,587	13,562	16,402
連結合計	68,268	78,486	82,597	84,139



# 中核事業会社別 次期繰越高

- ◆ 高松建設は受注高の増加により前年同期比+3.8%、青木あすなろ建設は前年同期比△0.5%、みらい建設工業は繰越工事の順調な進捗により前年同期比△13.9%、東興ジオテックは前年同期比△0.7%、タカマツハウスは受注高の大幅な増加により次期繰越高も前年同期比+70.0%。連結合計で前年同期比+0.5%となった。

(百万円)

会社別	2024/3 1Q	2025/3 1Q	増減額	増減率
高松建設 (単体)	206,703	214,561	↑ 7,858	+3.8%
青木あすなろ建設 (単体)	建築	94,814	↓ △472	△0.5%
	土木	64,779	↓ △261	△0.4%
	合計	160,326	159,594	↓ △732
みらい建設工業 (単体)	37,266	32,103	↓ △5,163	△13.9%
東興ジオテック (単体)	12,188	12,103	↓ △85	△0.7%
タカマツハウス (単体)	2,874	4,885	↑ 2,011	+70.0%
その他 (含連結調整)	20,778	19,148	↓ △1,630	△7.8%
連結合計	440,135	442,394	↑ 2,258	+0.5%



# 高松建設 セグメント別受注高

- ◆ 大阪・東京ともに賃貸マンション建築では前年同期の受注を上回った。
- ◆ 一般建築は、大阪では前年同期を下回ったものの東京では上回り、高松建設全体では前年同期を上回る受注高となった。
- ◆ 不動産の内訳は、販売用不動産および分譲マンションの合計受注高。2023年4月に開始した分譲事業は、今期大阪・東京合わせて5物件を売却予定。

セグメント別 受注高

(百万円)

		大阪				東京			
		2024/3 1Q	構成比	2025/3 1Q	構成比	2024/3 1Q	構成比	2025/3 1Q	構成比
建築	賃貸 マンション	512	4.7%	1,657	16.0%	8,042	68.1%	8,712	58.2%
	一般建築	10,481	95.2%	8,689	83.8%	3,760	31.9%	6,023	40.2%
不動産		13	0.1%	18	0.2%	1	0.0%	237	1.6%
合計		11,006	100%	10,364	100%	11,803	100%	14,972	100%

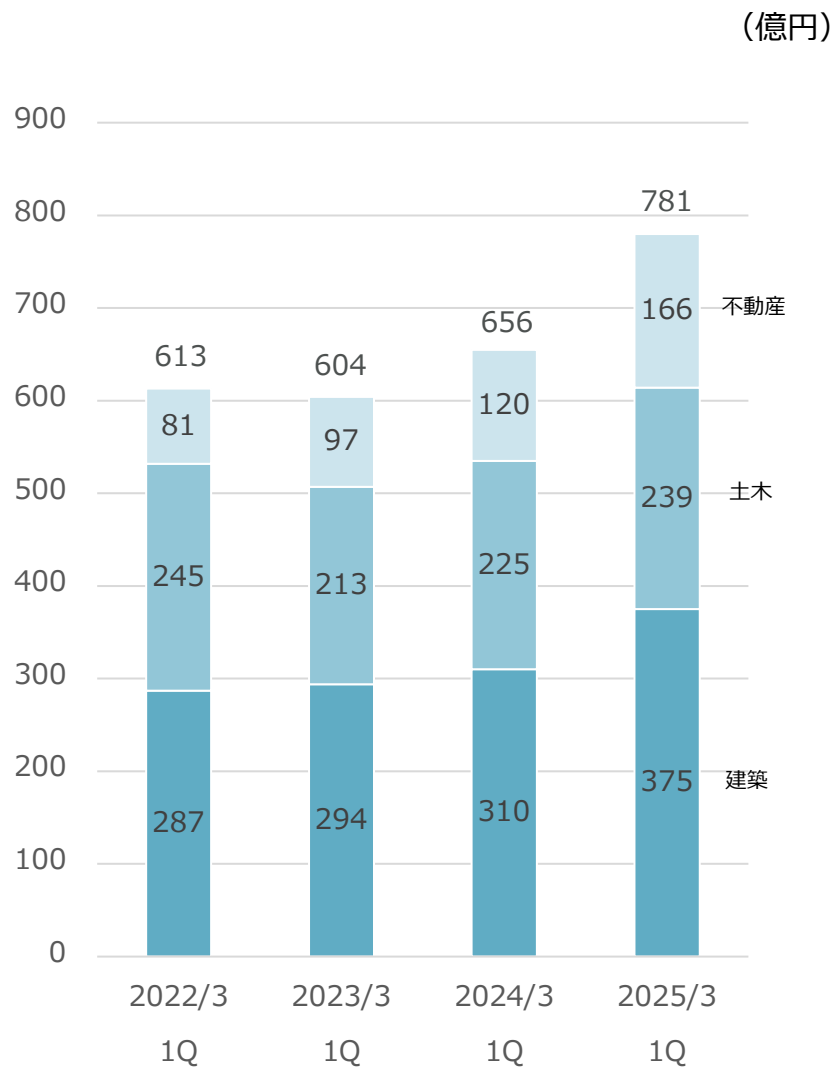
※数値はグループ会社間取引を含む。  
※構成比は小数点以下第二位四捨五入

# セグメント別 売上高

◆ 建築は青木あすなろ建設の増加により前年同期比+20.9%、土木は前年同期比+6.4%、不動産はタカマツハウスの増加により前年同期比+38.1%。

(百万円)

セグメント別	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q
建築	28,716	29,400	31,064	37,550
土木	24,557	21,312	22,513	23,955
不動産	8,102	9,714	12,035	16,624
連結合計	61,377	60,427	65,613	78,130



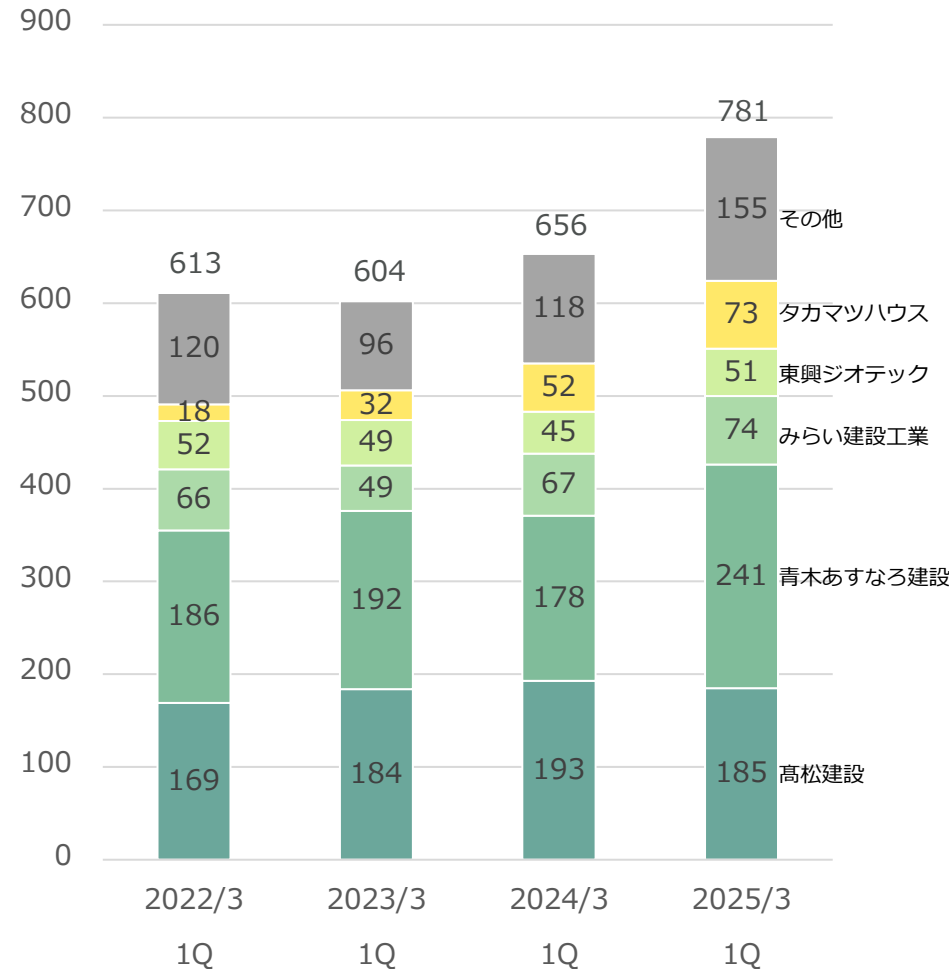
# 中核事業会社別 売上高

◆ 高松建設は前期末に完工した案件が多かったことにより前年同期比△4.3%、青木あすなる建設は大型の繰越工事が順調に進捗したことにより前年同期比+35.4%と大幅増、みらい建設工業は繰越工事の順調な進捗により前年同期比+10.2%、東興ジオテックも繰越工事の順調な進捗により前年同期比+12.6%、タカマツハウスは前年同期比+39.8%と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比+31.1%と大幅増。

(百万円)

(億円)

会社別	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q
高松建設 (単体)	16,967	18,402	19,397	18,562
青木あすなる 建設 (単体)	18,634	19,262	17,811	24,125
みらい 建設工業 (単体)	6,631	4,946	6,750	7,440
東興 ジオテック (単体)	5,211	4,908	4,564	5,138
タカマツ ハウス (単体)	1,854	3,217	5,227	7,309
その他 (含連結調整)	12,080	9,692	11,864	15,556
連結合計	61,377	60,427	65,613	78,130

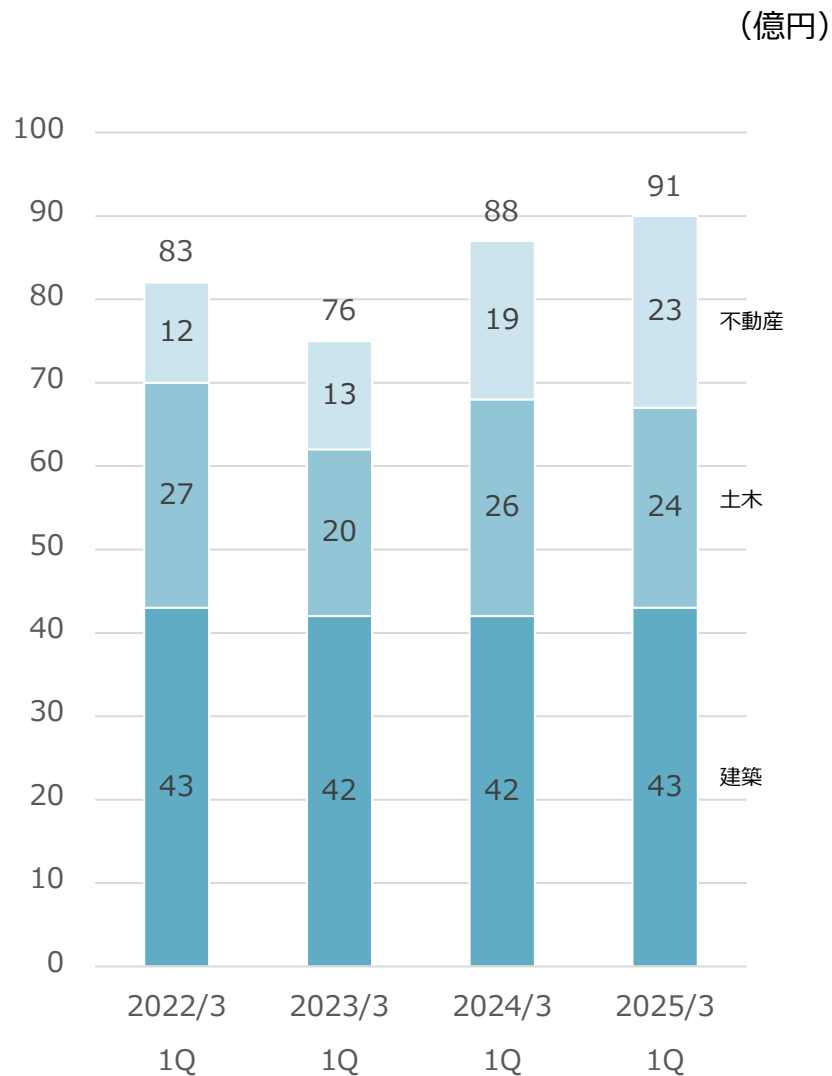


# セグメント別 売上総利益

◆ 建築は前年同期比+1.9%、土木は青木あすなろ建設で減少し前年同期比△8.9%、不動産はその他中核5社以外のグループ会社で増加し前年同期比+23.9%。

(百万円)

セグメント別	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q
建築	4,337	4,220	4,280	4,361
土木	2,760	2,072	2,644	2,408
不動産	1,203	1,321	1,927	2,388
連結合計	8,301	7,613	8,852	9,158



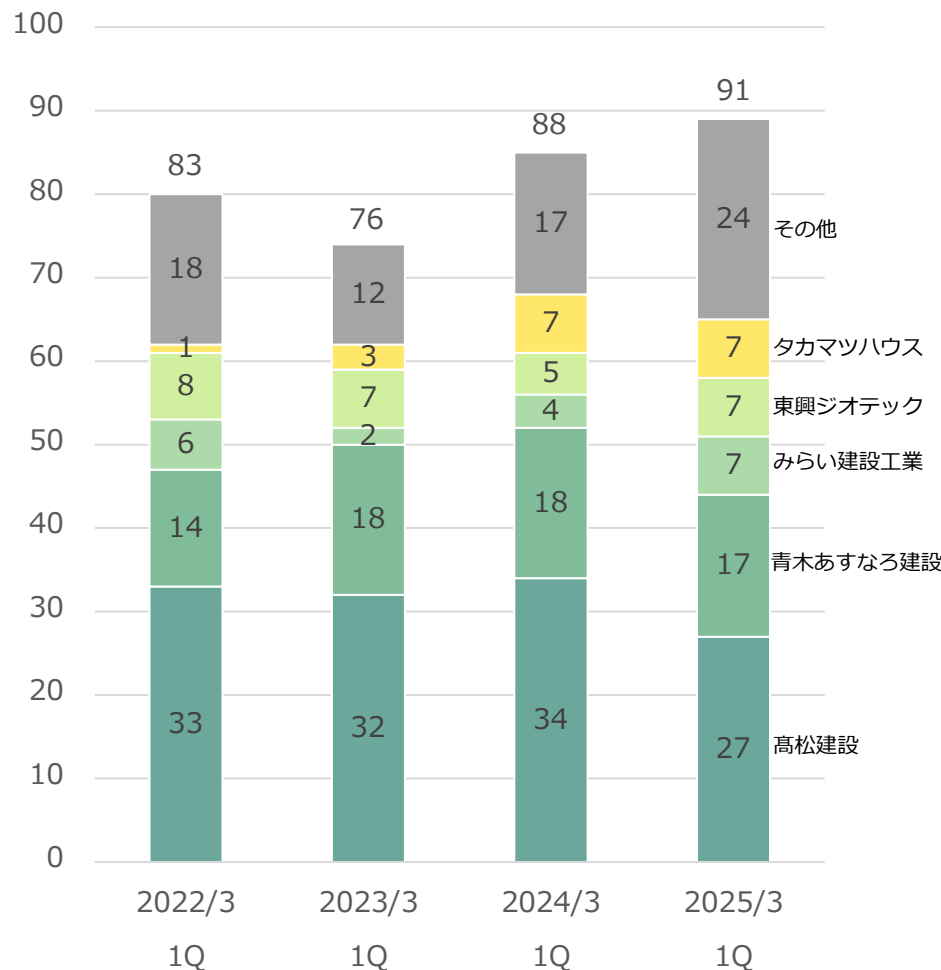
# 中核事業会社別 売上総利益

◆ 高松建設は売上の減少と売上総利益率の低下により前年同期比△19.7%と大幅減、青木あすなる建設は前年同期比△2.5%、みらい建設工業は採算改善した案件があったことなどにより前年同期比+50.4%と大幅増、東興ジオテックは前期から回復し、前年同期比+22.2%と大幅増、タカマツハウスは前年同期比△0.5%、その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比+39.1%と大幅増。

会社別	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q
高松建設 (単体)	3,323	3,217	3,483	2,795
青木あすなる 建設 (単体)	1,476	1,814	1,830	1,783
みらい 建設工業 (単体)	615	248	478	719
東興 ジオテック (単体)	884	705	575	703
タカマツ ハウス (単体)	186	393	758	754
その他 (含連結調整)	1,817	1,236	1,728	2,404
連結合計	8,301	7,613	8,852	9,158

(百万円)

(億円)

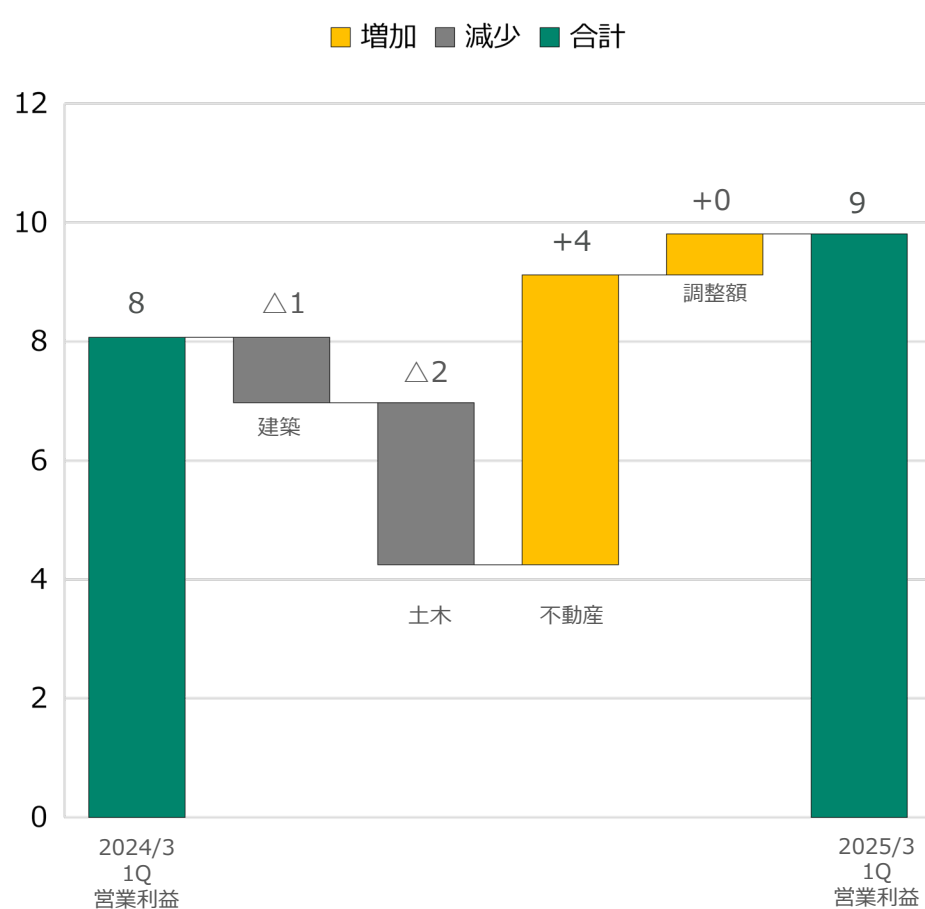


# セグメント別 営業利益

◆ 建築は高松建設で営業赤字となった影響が大きく前年同期比 $\Delta 79.2\%$ と大幅減、土木は青木あすなろ建設で減少し前年同期比 $\Delta 23.1\%$ と大幅減、不動産はその他中核5社以外のグループ会社で増加し前年同期比 $+59.2\%$ と大幅増。

(億円)

セグメント別	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q
建築	185	245	138	28
土木	1,467	666	1,176	904
不動産	703	608	821	1,308
連結調整	$\Delta 919$	$\Delta 1,130$	$\Delta 1,328$	$\Delta 1,259$
連結合計	1,437	390	807	981

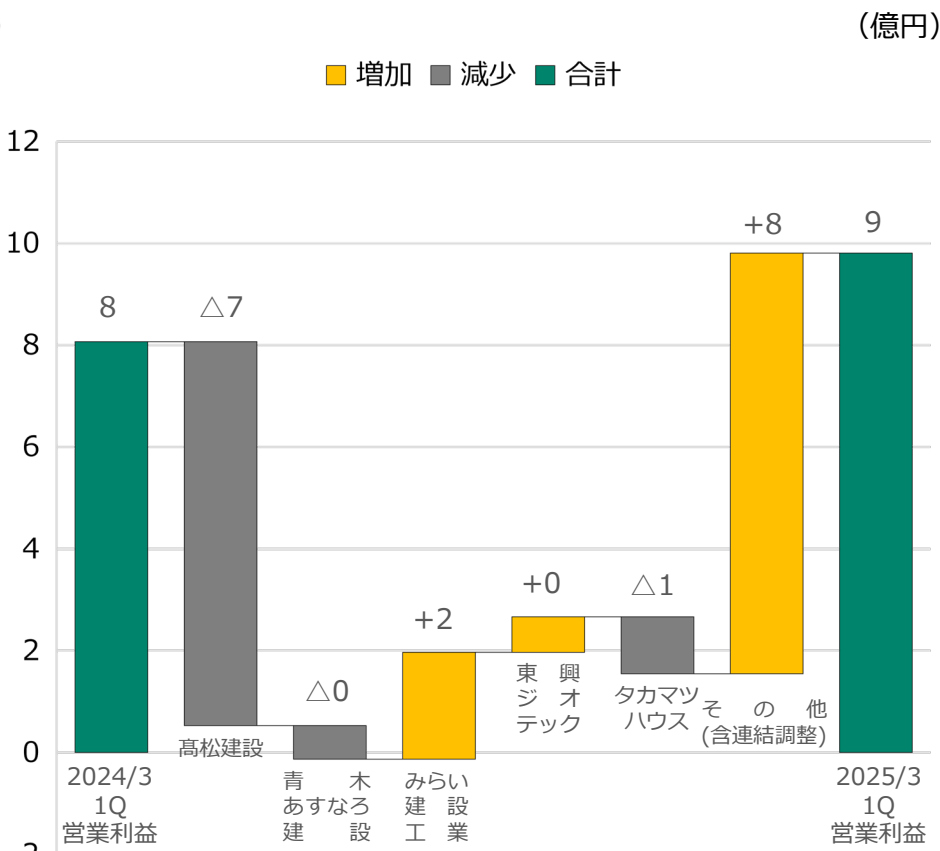


※各セグメントの数値はグループ会社間取引を含む。

# 中核事業会社別 営業利益

- ◆ 高松建設は売上の減少と売上総利益率の低下、人件費の増加により約3億円の営業赤字。青木あすなる建設は売上総利益率の低下により前年同期比 $\Delta 23.3\%$ 。みらい建設工業は売上の増加、売上総利益率の上昇により、約1億円の営業黒字となった。東興ジオテックは売上の増加、売上総利益率の上昇により前年同期比 $+75.5\%$ 。タカマツハウスは売上は増加したものの売上総利益率の低下、人件費の増加により前年同期比 $\Delta 36.2\%$ 。その他中核5社以外のグループ会社は約5億円の営業黒字となった。

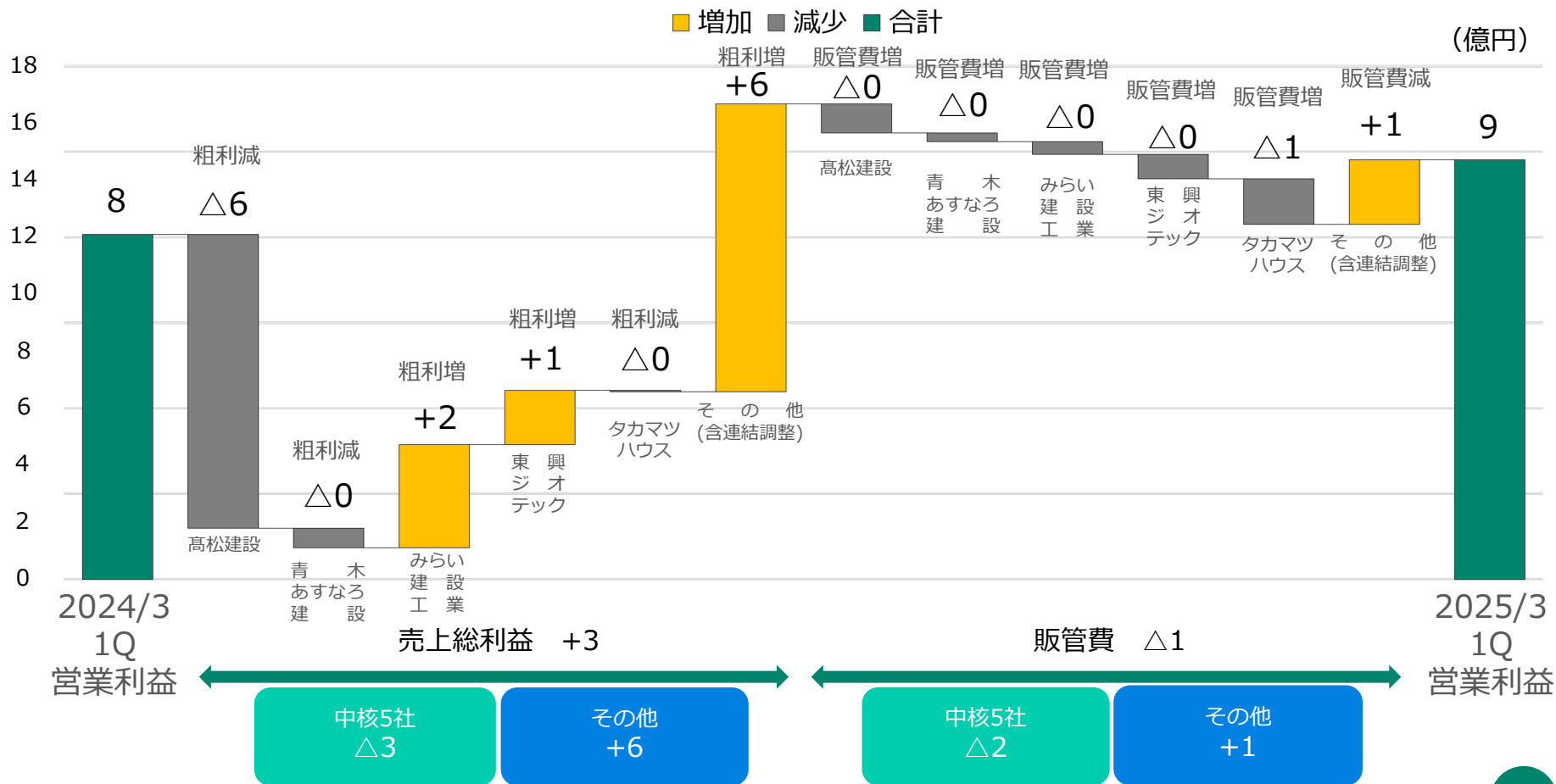
会社別	(百万円)			
	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q	2025/3 1Q
高松建設 (単体)	559	395	445	$\Delta 309$
青木あすなる 建設 (単体)	65	422	286	220
みらい 建設工業 (単体)	150	$\Delta 249$	$\Delta 32$	178
東興 ジオテック (単体)	466	250	92	162
タカマツ ハウス (単体)	67	83	308	196
その他 (含連結調整)	130	$\Delta 511$	$\Delta 292$	534
連結合計	1,437	390	807	981



# 売上総利益・販管費 営業利益増減分析

◆ 売上総利益は、高松建設の減少を、みらい建設工業、東興ジオテック、その他中核5社以外のグループ会社で補い、前年同期比約3億円の増加。販管費は、主に高松建設、タカマツハウスで人件費が増加し、前年同期比約1億円の増加。営業利益は全体で前年同期比約1億円の増加となった。

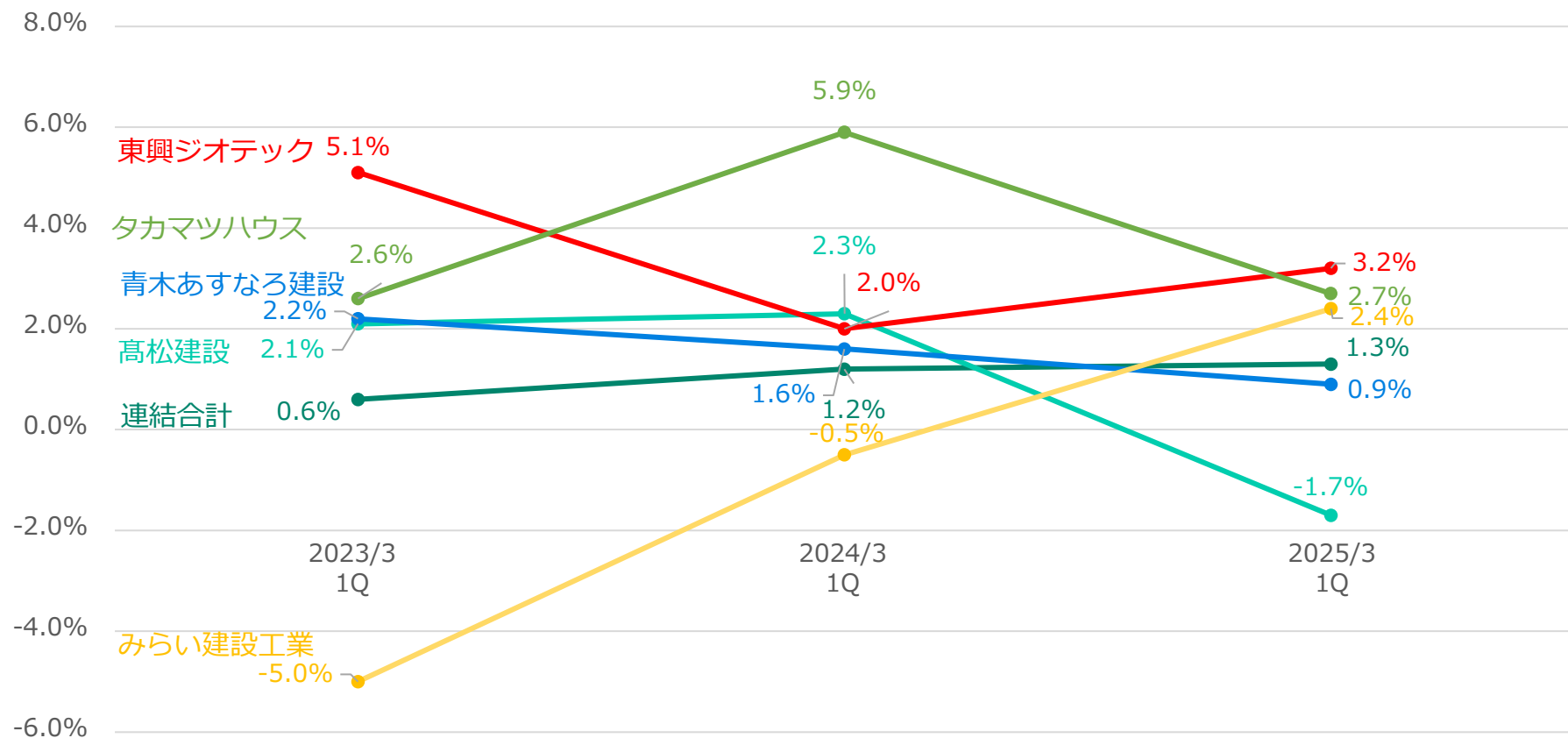
## 営業利益増減分析





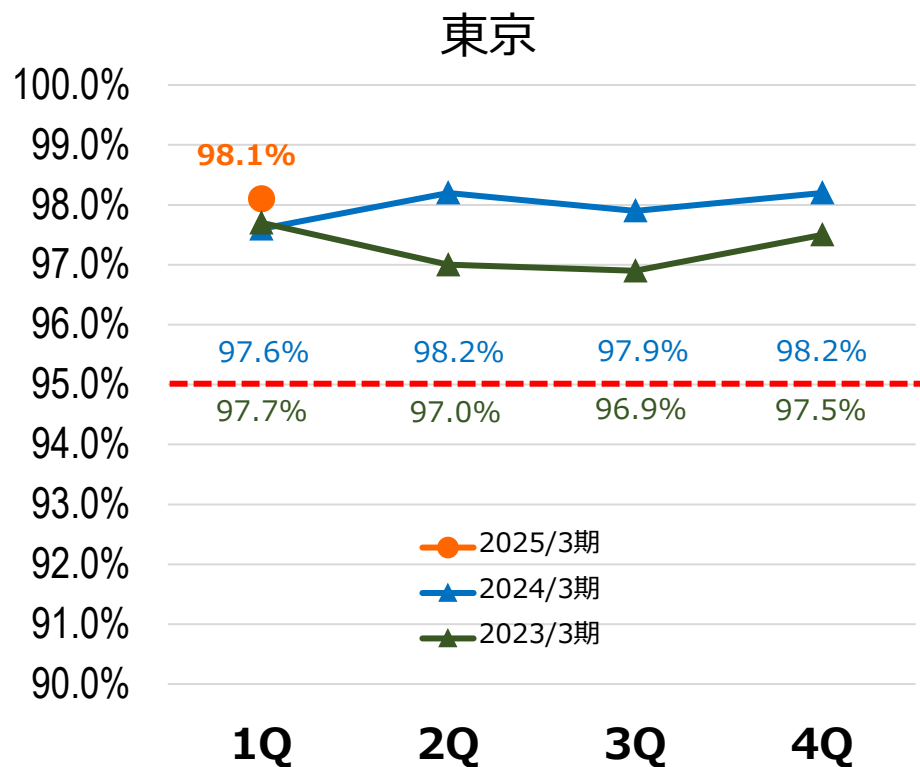
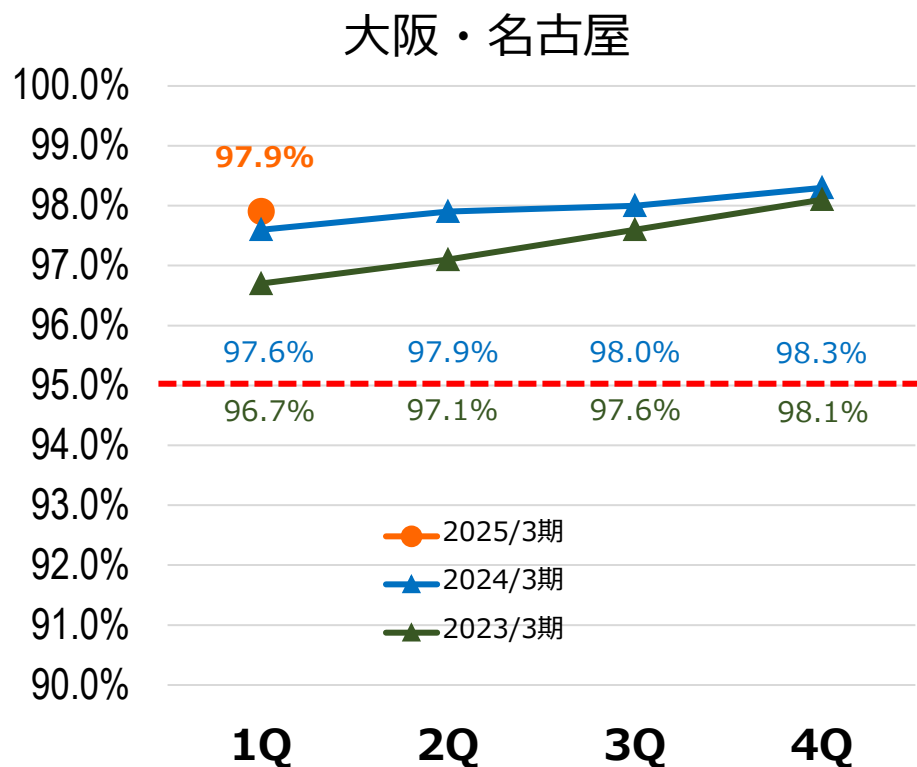
# 連結合計と中核5社の営業利益率

- ◆ 高松建設の売上総利益率は前年同期比 $\Delta 2.9$ ptと大幅に低下し、販管費のうち人件費も増加したため、営業利益率は前年同期比 $\Delta 4$ ptとなった。
- ◆ 青木あすなろ建設の営業利益率は前年同期比 $\Delta 0.7$ pt。
- ◆ みらい建設工業は売上総利益率 $+2.6$ ptと上昇し、営業利益率 $+2.9$ ptと前年同期のマイナスから大幅に回復した。
- ◆ 東興ジオテックは売上総利益率 $+1.1$ ptと上昇し、営業利益率 $+1.2$ ptと上昇。
- ◆ タカマツハウスは売上総利益率 $\Delta 4.2$ ptと大幅に低下し、営業利益率は前年同期比 $\Delta 3.2$ ptと大幅に低下した。



# 高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆ 入居率は2025/3期第1四半期も95%以上を維持。



定義：

「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市

「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

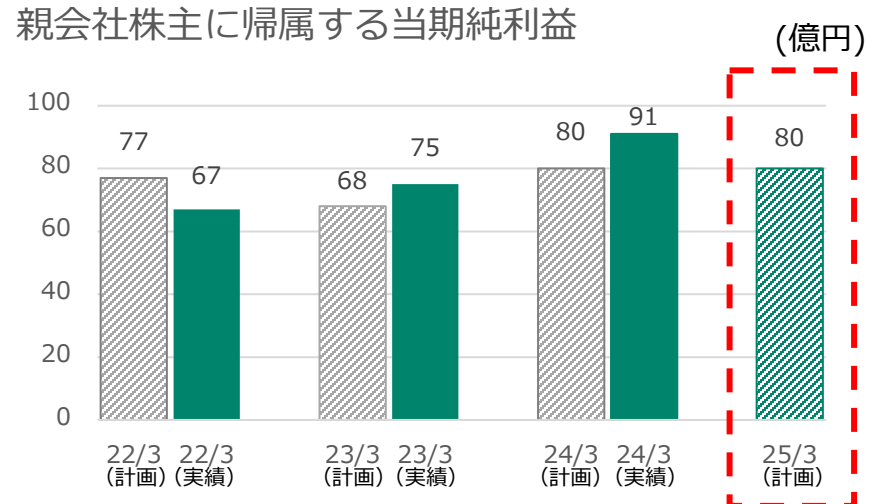
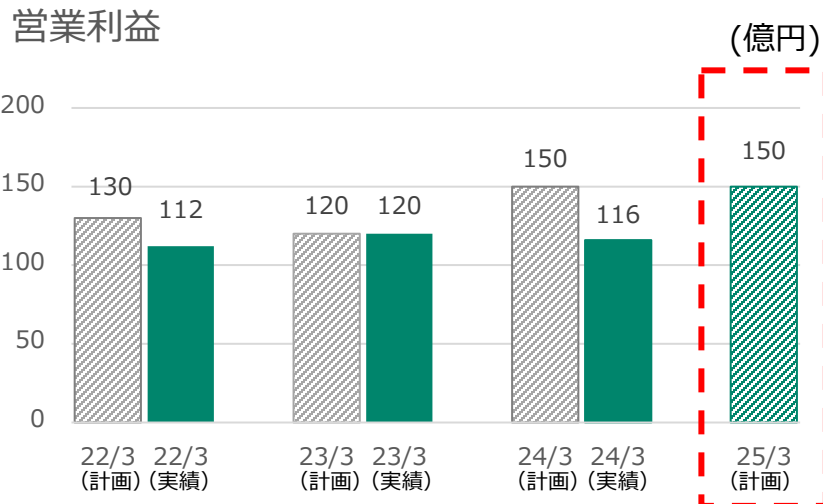
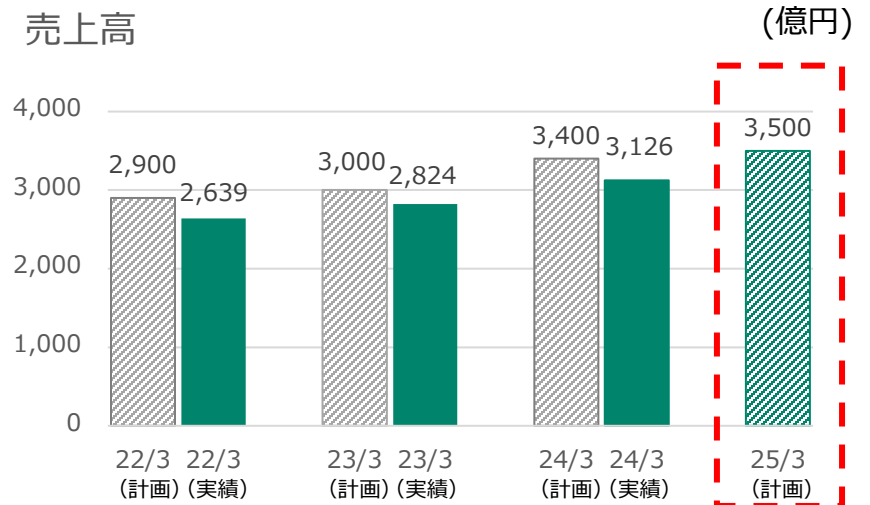
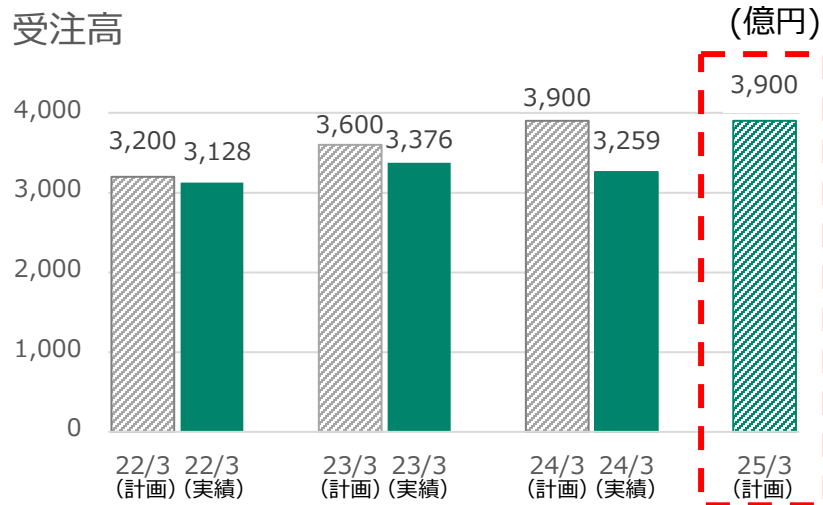
「入居率」＝各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の入居戸数  
÷各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の総戸数

2025年3月期  
業績予想・配当予想

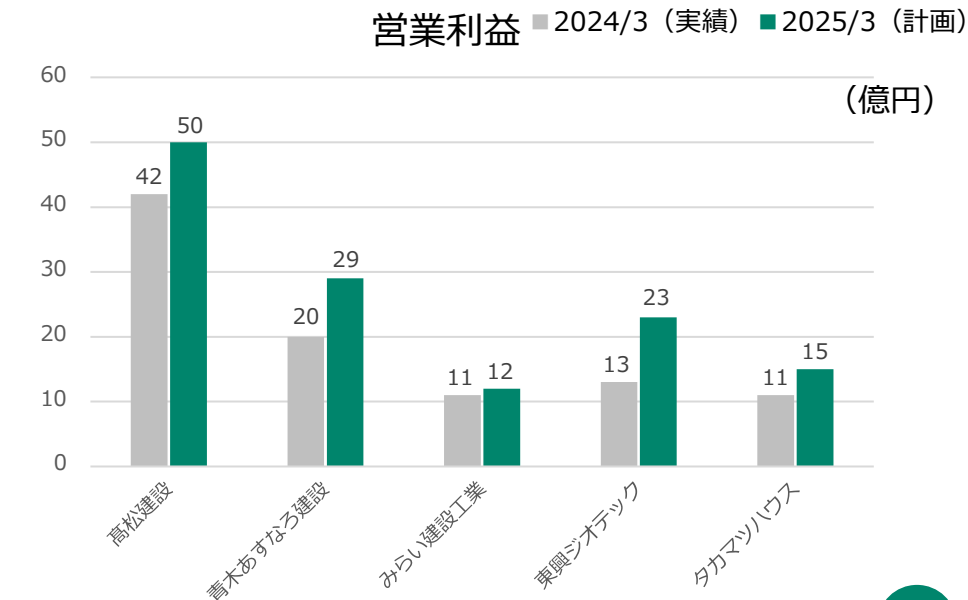
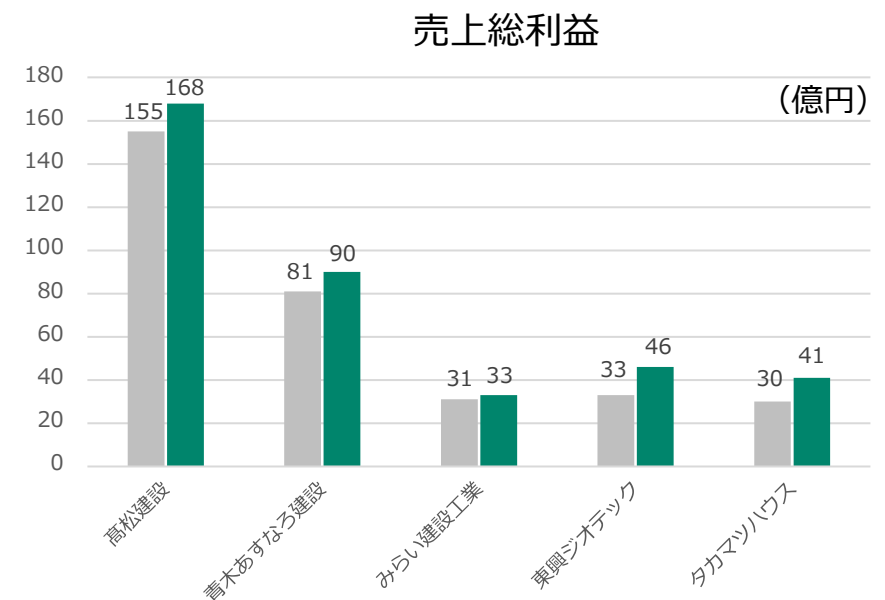
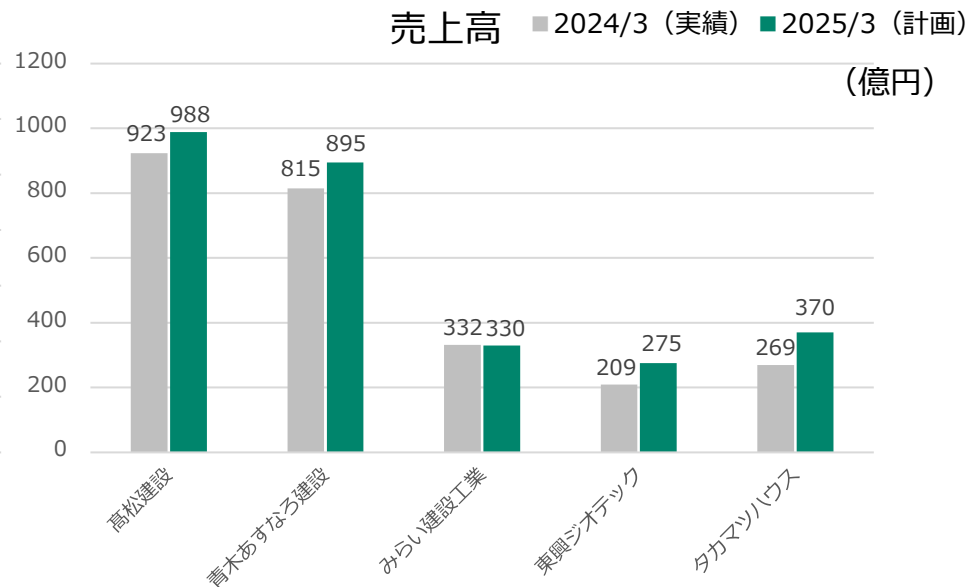
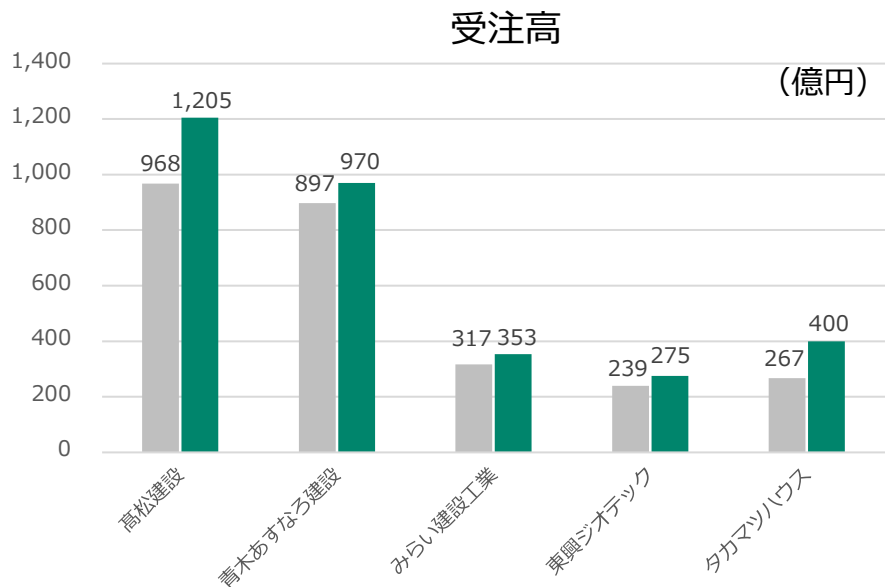
---

# 2025年3月期 業績予想

◆ 2025年3月期は、受注・売上・営業利益ともに前期を上回る計画。期初発表予想から変更なし。



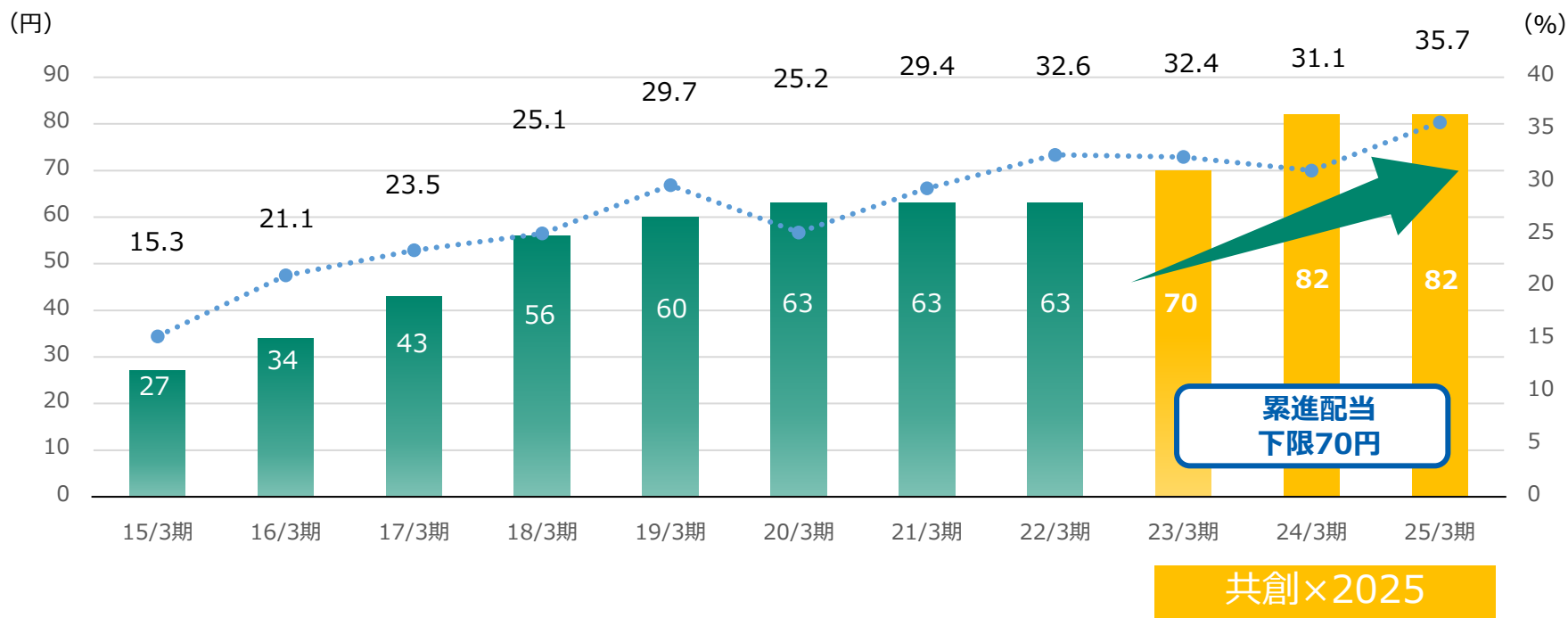
# 中核事業会社別2024年3月期実績・2025年3月期年度経営計画



# 2025年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

- ◆ 中期経営計画「共創×2025」（2023年3月期～2025年3月期）の対象年度においては**累進配当**を基本方針とし、年間の1株当たり配当金額の**下限を70円に設定**。業績に連動した利益還元をおこなう。
- ◆ 2025年3月期の配当額は1株当たり82円、配当性向は35.7%を予定。

## 配当額・配当性向 推移



# 高松コンストラクシヨングループ

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。